

LOVE

青るう

平成30年9月7日

第9号

～人との関わり～ 夏休みの宿題から

「人はパンのみにて生きるものに非ず」は聖書の中の有名な言葉です。自分の方を見てくれる、自分の話を聞いてくれる、自分の気持ちを大事にしてくれる、自分であることを愛してくれる。幼少時にそんな温かさに満たされた子どもは、人と関わることにためらいはなく、関わりは必ず自分を幸せにしてくれるという安定した軸のようなものに支えられているように思います。

本校の今後3年間の研究テーマは、『人とのかかわり』を育てる指導—『人とのかかわり』について指導内容・指導方法や指導場面から考え、実践する』です。これは、永遠のテーマです。障害に関わらず、人との関係性が薄れてきた時代の要請かもしれません。

夏休みの私からの宿題は「本を3冊以上読む」でした。きっと、始業式に読みましたか？読みました、で、宿題の確認は終わりだと予想していたと思いますが、そんなことはありません。（生徒の皆さん覚えていてね）模造紙に一人一人読んだ本の題名と、冊数を書く表を提示し、その表に各自書くことと本を持って来ることをお願いしました。子ども達は苦笑いです。私からの発信にどれくらいの生徒が応えてくれるか、自分の発信力の自己評価と共に子ども達の「人との関わり」度合いに期待を寄せました。誰も書いてくれなかったら・・・は杞憂でした。1年生の櫻田栞君が早速書いてくれ、本を置いていってくれました。そこからは続々です。休み時間は校長室前が賑やかになりました。

ある生徒との会話 「校長先せー、金曜日（置いている）本を持って帰っていい？」
「いいよー、なんで？」「（土日置いていくと）本がかわいそう」

ある生徒のつぶやき「置いとくと、本が日に焼けちゃう」

※日が差したらカーテン引くようにしました。

夏休みの読書は驚くばかりの冊数でした。多い子は41冊。10冊以上は10人です。漫画でも雑誌でも良い、本を選び、ページをめくり、自分以外の人や物事に触れ世界を広げる経験は、その人の中に静かに満ちていく湖のような場所を創ってくれるように思います。自分の中のさまざまな他者の存在が人を豊かにしてくれます。

「本がかわいそう」「本が日に焼けちゃう」

本を友だちのように大切に思う生徒の気持ちに、大人の私の偽善に気付かされます。自分の発信に覚えてもらえることが、還暦近い人間でもこんなに嬉しい。人や本との関わりを大切にする生徒たちの気持ちがこんなにも嬉しい。全校朝会で御礼を言いました。ありがとう、みんな、嬉しかったよ、と。

「 思 い 」

小学部主任 木村 一子



私が初めて聾学校に赴任したのは八戸聾学校で、幼稚部を担当しました。それから、青森と八戸を行ったり来たりし、幼稚部、小学部、中学部、高等部を経験させていただきました。そのおかげで、幼稚部で担任した子どもたちを中学部で再度担任したり、担任ではなくても教科を担当したり、とても感慨深く、うれしく思いながら授業をさせてもらいました。それぞれの学部で、子どもたちの頑張りや成長が見れたこと、その時時でいろいろな喜びを感じてきたことが、今の自分の力になっていると実感する毎日です。

たった1年間しかいなかった高等部でしたが、自分の中ではとても考えさせられた1年でした。卒業後、すぐ社会に出る子どもたちと過ごしながら、何が大切だろうと思いました。その時思ったことは、『伝える』ということでした。元気に挨拶をする、分からなかったら尋ねる、具合が悪い時はその旨を伝える、自分のことを周りに伝え知ってもらう等、勇気が必要ですがとても大事なことだと思いました。話して伝える、書いて伝える、身振りで伝える、方法は何でもありだと思います。これは、高等部になったから身に付くものではなく、小さい頃からの積み重ねがあつてのことだと思います。それぞれの学部で支援してきたことが、ずっとつながっているということ強く感じました。今やっていることはすべて将来につながっている、『伝える』力の育ちにつながるということを心にとめ、小学部段階でできることをしっかりと育てていけるよう、教育活動に努めていきたいと思えます。

★うん10年前、小学部でペア担任として一緒にクラスを持ったことがあります。あだ名は木村先生は「うさこちゃん」で私は「鬼」でした。その子達は今、母となり、社会に出て立派に人生を歩んでいます。忘れ物が多い子達で、一つ忘れたら昼休みにグラウンド一周走るというクラスのきまりを子ども達が話し合って決め、いったい何周走るんだという日々は笑い話と共に懐かしい思い出です。学校の花壇の脇にタイムカプセルを埋めています。退職の年、みんなで掘り起こすことになっているのですが・

誠実な信頼できる人とペア担を組むことほど幸せなことはありません。

きっと、小学部の職員も同じ思いでしょう。子ども達が伝え合うためには、大人達も伝え合う関係性が必須です。それをベースに小学部の教育活動は営まれています。人との関わりは大人から・・・です。